

4段階評価

4:期待以上

3:ほぼ期待通り

2:やや期待を下回る

1:改善を要する

学校経営 ビジョン	「チーム紙屋」を合言葉に、生徒一人ひとりを大切にする学校づくりを推進する。 ～「自立した社会人の育成」に向け、認め、鍛え、伸ばす～
--------------	--

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策等	自己 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
知 育	<p>【重点目標】 生徒一人ひとりの学力や個性を把握し、個の良さを伸ばし協働的に関わり合いながら、主体的に学ぶ生徒の育成</p> <p>【手段】 (1)「わかる・できる」を実感させる授業づくりの推進</p> <p>(2) テストに向けた計画的な学習指導・学びたい度の向上</p> <p>(3) 個別最適な学習と協働的な学習の融合を図るICT機器の効果的な活用</p> <p>(4) 家庭と連携した効果的な家庭学習の推進</p>	<p>(1) 学力向上は本校の大きな課題である。本年度は、複数指導体制を取り入れ、授業のサポートを積極的に行った。教師一人一人の授業力アップや「わかる」授業の工夫や「できる」喜びを味わわせるなど、次年度も継続して取り組んでいきたい。</p> <p>(2) 生徒の学習状況を細かく分析し、評価するために、各教科において単元テストを実施した。また、年4回の校内テストや実力テスト等でも少しずつ成果が上がっており、生徒に採ったアンケートの「学びたい度」の集計結果も良い。</p> <p>(3) 個別最適な学習を推進するために、講義型の授業を減らし、ICT機器を工夫した授業を校内研究でも取り入れた。次年度もその効果についてしっかりと検証し、生徒に還元していきたい。</p> <p>(4) 家庭学習では、各教科の課題プリントを配付したり、デジタルドリルを配信したりした。デジタルドリルについては、個々の学習の進捗状況に応じて取り組ませることができると、次年度、さらに工夫して取り組ませたい。</p>	3.0	3.2	<p>○ 生徒一人一人に先生方が向き合ってくれていると感じた。</p> <p>○ 教育の分野でのICT化が進んでいて、新しい授業の行い方ができていると思われる。</p> <p>○ 「わかる・できる」授業に取り組み、一人一人を大切に思われているのが感じられます。ありがとうございます。</p> <p>○ 小学校からICT機器に触れる機会が多く、スムーズにICT機器を使いこなしているのがよく分かります。</p> <p>○ 1・2年生は3年生の姿をよく見えています。自分の目標に向かいしっかりと取り組んでいる3年生を見て、「自分もああいう風な先輩になりたい、自分も将来はあの高校に進みたい」と考えている子がたくさんいて嬉しいです。これも一人一人をよく見て的確なアドバイスをいただいているおかげだと思います。</p> <p>○ 具体的にどのようなことを行ったのかを教えてくださいたいと思いました。</p> <p>○ 生徒の前向きな姿勢が向上することは素晴らしいことだと思います。継続していただきたいです。</p> <p>○ デジタルドリルについては、今後とも是非活用していただきたいです。</p> <p>○ 複数指導体制とは、小規模校ならではの良さでしょうか。</p> <p>○ 各教科課題プリント配付とのことで、学びの方向性が分かり、楽しく学べるのでしょうか、先生方の努力の結果ですね、素晴らしい。</p> <p>○ 英語検定等に積極的に参加させる取組は大いに期待します。</p>
徳 育	<p>【重点目標】 互いの個性を認め合い、思いやりの心をもち広い視野をもって社会に貢献できる生徒の育成</p> <p>(1) 複数指導体制での心の教育の実施</p> <p>(2) SST(ソーシャルスキルトレーニング)による社会性・協調性の育成</p> <p>(3) いじめのない仲間づくりの推進</p> <p>(4) 自立と自律を意識した主体的な生徒会活動の推進</p>	<p>(1) 学級経営を学級担任一人に任せず、副担任と協力することにより、サポート体制を整えた。また、朝の会や帰りの会だけでなく、道徳や学級活動といった授業においても複数指導体制を実施した。</p> <p>(2) 昨年度からの取組を継続し、「紙屋タイム」の時間に、スクールカウンセラーによるソーシャルスキルトレーニング(SST)を実施した。よりより人間関係構築のための取組なので、次年度も継続したい。</p> <p>(3) 毎月のいじめアンケートや、その結果を受けての教育相談など、丁寧に取り組んだ。また、「西諸人権の取組」で人権に関する道徳の授業を実施し、その内容について各家庭に協力をもらいながら一緒に考える機会を作った。</p> <p>(4) 生徒会役員による小中合同のあいさつ運動や日々の自主的な取組など、自ら進んで取り組もうとする態度が育ってきている。</p>	3.5	3.6	<p>○ いじめ等もなく、学校全体が1つにまとまっていると感じた。</p> <p>○ 複数指導体制を実施され、一人一人の行動や心の変化をしっかりと把握され、より良い指導や関わりができています。</p> <p>○ 生徒会を中心にみんなのまとまりや頑張りを運動会やいろいろな発表の場で見ることができました。これも先生方の励ましや助言のおかげだと感謝しています。</p> <p>○ 一人よりも複数指導体制の方が、子どもたちの変化に気づきやすいと思いますので継続していただきたいです。</p> <p>○ SSTを実施した結果はいかがでしたか？</p> <p>○ 生徒のみではなく家庭への協力をもらい、一緒に考えることは素晴らしいと思います。</p> <p>○ そのまま継続していただきたいです。</p> <p>○ 「紙屋タイム」で、大事な人間関係の構築の在り方は、人間として一番大事な根本的な学びで、一生の宝になるでしょう。</p> <p>○ 高妻神社の掃除や国道沿いの花壇植栽ボランティア、ゴミ拾い等、いつも感謝しています。</p> <p>○ 「あいさつ運動」には、校区社協の皆さんも一緒に参加させてもらうので、大いに「元気と笑顔」をもらって楽しみの1つとなっています。</p> <p>○ 花壇の花植や高妻神社の清掃他、ボランティア活動によく頑張っていると思います。</p>

<p>体 育</p>	<p>【重点目標】 自立と自律を意識し、自らを鍛え互いに高め合い、心身の健康を保とうとする生徒の育成</p> <p>(1) 新体力テスト結果に基づく個別の体力向上水準の向上</p> <p>(2) ① 虫歯治療率 75%以上 ② 給食残食、朝食欠食ゼロと適正体重の維持 ③ 健康的な視力の維持</p> <p>(3) 立腰での精神バランス感覚向上</p> <p>(4) メディアを適切に利用できる(メディアコントロール)力の育成</p>	<p>(1) 体力テストの結果をもとに、持久カアップのための授業前のウォーミングアップを継続して行うことができた。さらに柔軟性を高めるための取組の工夫も必要である。</p> <p>(2) 保健主事(養護教諭)の積極的な働きかけにより、虫歯の治療率や給食残食ゼロと朝食欠食ゼロは本年度もほぼ達成されている。小中合同の生活リズムチェック週間を設定し、長期休業明けの生活習慣改善に効果を上げることができている。</p> <p>(3) 立腰指導を授業開始時と終了時や集会時に実施した。また、授業中の姿勢についても随時指導しているが、タブレットに集中している時に姿勢が前屈みになることが多く、次年度への課題である。</p> <p>(4) スマホ・携帯教室を7月に、メディアに関する講演会を9月に実施した。どちらもSNSにおける正しい利用法や情報モラルなどの知識を学ばせることができた。</p>	<p>3.7</p>	<p>3.6</p>	<p>○ 食材の値上がりの中、給食の残食ゼロを達成しているのは、素晴らしいと思う。</p> <p>○ メディアに関する勉強等が実施されていた。世の中の動きについていけると思われる。</p> <p>○ 小中合同の生活リズムチェック週間やプールの共用など、小学校との連携がなされていると思う。</p> <p>○ プール指導を見学する機会がありました。とても丁寧に分かりやすく指導されていて感心しました。また、複数の先生達で対応され、安全面も徹底されていると感じました。</p> <p>○ 個別の体力水準の向上とありますが、授業前のウォーミングアップを行うことにより、どれくらいの効果があったのですか?教えていただきたいです。</p> <p>○ 虫歯の治療率や給食残食ゼロ、朝食欠食ゼロが、ほぼ達成していることは素晴らしいです。継続していただきたいです。</p> <p>○ スマホやSNSによる被害は多く出ているため、継続して教育をお願いしたいです。</p> <p>○ 合同運動会も実施されている中、生活習慣等の連携は大事なことだと思います。</p> <p>○ 「スマホ首」は、中学生から煩っているとのこと。注意したいですね。</p> <p>○ 合同運動会では、中学生が率先して小学生をサポートしていると思います。</p>
<p>食 育</p>	<p>【重点目標】 食につながる人や環境への感謝の気持ちをもたせ、あらゆる命を大切にしようとする生徒の育成</p> <p>(1) 命を大切に安全指導の充実</p> <p>(2) 弁当の日の充実と食育の推進</p> <p>(3) 田植え・稲刈り体験による「食」への感謝の気持ちの育成</p> <p>(4) 自分の命を守る力を育成する防災教育の充実</p>	<p>(1) 生徒向けの交通安全教室を4月上旬に実施し、職員による校内の安全点検は毎月実施できている。自転車通学生の安全への意識が低いため、今後も指導を徹底していきたい。</p> <p>(2) 弁当の日を年2回実施し、意識向上のための「弁当の日のレポート」を生徒に提出させることができた。また、学校給食センターや栄養教諭と連携し、給食感謝集会を実施した。</p> <p>(3) 地域コーディネーターの協力をいただきながら、田植えから稲刈り、餅つきまで実施した。保護者や地域の方々の協力なしでは継続できない行事であるが、生徒達にとっては貴重な体験となっているため、次年度も継続して行っていきたい。</p> <p>(4) 昨年度から継続して、紙屋保育園、紙屋小学校と連携し、防災時の保護者への引き渡し訓練を5月に実施した。9月には「防災フェスタ」も実施したが、次年度は、地域の方々との連携を図った取組を計画している。</p>	<p>3.7</p>	<p>3.6</p>	<p>○ 弁当の日をもう少し増やせると、もっと食育に対する生徒達の意識向上が目指せると思います。</p> <p>○ 弁当を自分で作ることで、食への関心や食材1つ1つを大切にすることなどを学べ、とても良い取組だと思います。</p> <p>○ 地域の方々の協力が、いろんな体験できていると思います。いろんな人の話を聞き、発表したり、一緒に触れ合ったりすることで自分を知ってもらい、それが命を守る見守りにもつながると思います。本当に皆様に感謝です。</p> <p>○ 校内安全点検が毎月実施できていることは素晴らしいです。自転車通学生への指導はどのようなところを重点的に指導されるのか教えていただきたいです。</p> <p>○ 弁当の日のレポート、給食感謝集会を実施することにより、生徒達の考え方がどう変わったのか教えていただきたいです。</p> <p>○ 田植え・稲刈りは継続していただきたいです。</p> <p>○ 引き渡し訓練や防災フェスタを行ったことにより、防災教育へはどのような影響があったのかを教えていただきたいです。</p> <p>○ 自転車の青切符も要注意ですね。</p> <p>○ 感謝して命をいただいていることの再認識ですね。</p> <p>○ 世代間交流も地域を守る行事や慣習の学びになっていることでしょう。続けたいですね。</p> <p>○ 「防災フェスタ」を地域と共に実施すること。嬉しい限りです。</p> <p>○ 田植えから稲刈り、餅つきまで積極的に参加していると思います。</p>

その他	<p>【教職員の人材育成と働き方改革】</p> <p>(1) 教職員の育成としての年間目標と個人目標の役割の確認</p> <p>(2) 教職員の学びの場の拡大と外部機関の積極的な活用</p> <p>(3) 教職員の働き方改革と教育の質の向上</p>	<p>(1) 職員一人一人が「目標・役割達成シート」を作成し、それを明確にすることで具体的なゴールイメージを持って職務を遂行することができた。しかし、個々の達成度に到達していない項目もあるため、互いに研鑽していくことが必要である。</p> <p>(2) 自ら進んで学ぼうとする姿勢が低いと思われる。職員数も少ないため、校外へ出張に対し遠慮気味な傾向がある。紙屋の子どもたちへ還元するための研修であるため、職員間で協力しながらお互いを高めていける雰囲気作りを次年度は意識していく。</p> <p>(3) 定時登庁や退庁、リフレッシュデーの設定など、ワークライフバランスや働き方を意識した勤務形態が実現できている。生徒と接する時間や教材を研究する時間の確保など、生徒に還元できることを常に意識したい。</p>	3.4	3.3	<p>○ 先生方が生徒一人一人に向き合ってくれていると思います。</p> <p>○ 自分なりの「目標・役割達成シート」を作成され、頑張っておられる姿に頭が下がります。きっと生徒達も先生達の姿が通じていると思います。</p> <p>○ 体も心もリフレッシュして、また、新たな気持ちでいるんなことに取り組むのは大切だと思います。継続をお願いします。</p> <p>○ 素晴らしい目標設定ができていたとしても、自ら進んで学ぼうとする姿勢が低いということであれば、目標達成は難しいと思われます。校外へ出張参加も職員数が少ないため遠慮するというのであれば、先生達全員で1つの大きな目標を作り、それに向かって進んでいくというような目標設定をされてみてはいかがでしょうか？そうすることで先生達のワークライフバランスもより良くなるのではないかと思います。</p> <p>○ 先生方の気づき、気配りの在り方にはいつも目をみはるものがあります。生徒達は「門前の小僧、習わぬ経を読む」きっと、見よう見まねで身に付いていっていることが多いと思います。感謝あるのみです。</p>
-----	--	--	-----	-----	--

次年度の方向性についての校長所見	<p>【知育】 本校の大きな課題である学力向上について、危機感を持ち、組織的に取り組んでいく必要がある。そこで、子どもたちが「わかった、できた、もっと学びたい」と思えるようにするため、教師の授業改善につながる取り組みを充実させていきたい。また、1時間の授業時間を45分にすることで一日の時間に余裕を持たせ、デジタルドリルを活用した基礎学力向上の時間を設定するなど、個に応じた指導を充実させたい。</p> <p>【徳育】 小規模校の強みを活かし、学年に関係なく積極的な声掛けを継続していきたい。また、社会性・協調性を育成するために有効なソーシャルスキルトレーニングを計画的に実施していきたい。さらに、自信を持って行動できる生徒の育成を目指して、生徒一人ひとりが輝ける機会をこれまで以上に提供するなど、達成感を持たせる工夫をしていきたい。</p> <p>【体育】 体育科職員、養護教諭を中心に、体力向上の取り組みや心身の健康を子どもたちに意識させる取組が実践できており、次年度もこの取組を継続していきたい。また、全国的にも大きな課題となっているメディアを適切に利用できる（メディアコントロール）力の育成については、職員の指導だけでなく、生徒会を中心に自分事として考えさせる機会を設けるなど、新たな取り組みを模索していきたい。</p> <p>【食育】 稲刈りや田植えなどの行事については、地域の皆様のご協力のおかげで実施できている。次年度は、これらの行事をとおして食や支えてくださっている方々への感謝の気持ちを育ませるために、事前や事後の指導を工夫していきたい。防災教育については、地域の防災行事との連携を含め、充実したものになるよう計画していきたい。</p> <p>【その他】 「子どもたちの成長のために必要なことは！」ということのを忘れず、職員間で議論しながらよりよい方法を考え、実践していきたい。また、私たち教職員も学び続けることから逃げずに、校内外の様々な研修で自分を磨き、子どもたちの未来のために力を発揮していきたい。</p>
------------------	---